

(様式2(1))

事業所名 協同の苑六甲アイランドグループホーム

作成日: 2020年 3月 31日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1-1	法人の『愛と協同』の理念はあるがグループホームとして目指す方針がなく、現場の認知症ケアは個々の経験値や発言力のある職員の対応が正解になり、みんなで介護観や認知症ケアを深め、学ぶ機会も作れていない	協同の苑グループホームとして目指す認知症ケアの方向性を具体的に掲げる	①管理者、ユニットL、ケアマネでグループホームとして目指す姿を話合う ②各ユニット会議で目指すべき認知症ケアについて思いを聞き取る ③全員の思いを文章化しグループホームとしての理念(目指す姿)を提示する。	6ヶ月
2	36-18	尊重とプライバシーについて年に1度研修を行っているが、常に意識して行動しているとまで言い難い、またお互い注意しあえる職場になっていない	職員が互いに注意しあえる環境、協同の苑の理念でもある尊厳を意識し関われる職員教育の研修の実施ができる。	①グループホームの理念を基にケアや現場の在り方を話し合う機会を3か月に1回実施する ②半年に1回自己評価を行う。 ③職員がつかれているときは上位者が話を聞く機会を設ける ④年に2回研修の実施	12ヶ月
3	8-7	後見人制度を利用している対象者が3名。管理者は外部の研修などで権利擁護の研修を受けるが、職員への周知ができていない。また、理解を深める場を設けたこともない。	職員が権利擁護について知識を深める場を作る。研修の実施。	①あんしんすこやかセンターと連携して資料を取り寄せる。 ②ユニットリーダーが外部の研修に参加する。 ③他職員にはあんすこと連携し研修会を開催し参加してもらう。	12ヶ月
4	4-3	運営推進会議は定期的実施しているが、利用者、家族が参加する機会がない。	年に1回でも利用者、家族が参加する会議を開催する。	①ご家族に会議への参加を依頼する ②日程を伝え参加できる日に参加依頼。 ③ご家族としての意見を聞き取り、今後の運営に生かす。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。